
エロりん黙示録

エロ主LOVE

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エロりん黙示録

【Nコード】

N7379U

【作者名】

エロ主LOVE

【あらすじ】

エロいオリジナル主人公〓エロ主が活躍する話

エロ：ノリ〓3：7でえす

チートばかりのこの業界で、斬新なエロ作品を書きますたwwwwwwガチで16禁はあるからwwwwww何か問題でも？

カバさん〃馬鹿野郎！（前書き）

ちゅ、いじゅー！

カバさん〓馬鹿野郎！

転生！ヤフー！やってやりましたよ僕ちゃん！

こんにちはあ！僕ちゃんの名前は毒島・ファイヤードラゴン・竹虎
でつす！・・・・・・・・・・一時は、竹太郎^{たけたろう}なんて巫山戯た
名前だったが、そんな名前は僕ちゃんにはふさわしくないおwww
wwwファイヤードラゴンって、マジサイコーだろ！

自分のセンスが恐ろしいぜ（キリッ

「竹太郎？何をしている？鍛錬の時間だぞ」

「さーせんwwwwww今、いつきまあす」

「その口調はやめなさい。お前も4才になるのだ。そろそろ、毒島
家の長男としての自覚を持ちなさい」

「むりい、やめてよね！おとーたま。第一、僕ちゃんの名前はファ
イヤードラゴンです」

「お前は・・・・・・・・・・そうだったな。私が悪かった」

「いえいえ、おとーたまは悪くありましてんwwwwwwそれと、鍛
錬なら冴子にやらして下さい。僕ちゃんは世界の危機に関する重要

な課題がありますので W W W W W W W

「……そうか。邪魔したな」

足音なく部屋を出て行くおとーたま W W W W W W

ふつ、僕ちゃんのあまーいスイーツタイムを邪魔するから、こんな微妙な空気になるのだ

「兄さん、どうかしたの？」

僕ちゃんが等身大の鏡を見てナルシつてると、冴子が何時の間にやら僕ちゃんのプライベートルウムに入って来ていた。クソ親父なら殺していたが、冴子は別だおwwwwwwなんせカワイイのだ！

「兄さん？」

ほら見るお！この首を傾げる動作！マジ鼻血ブーだろ！

が！

「ダメだあ！冴子お！『お兄ちゃん』だろ！そこはあ！」

「はい！お兄ちゃん、ゴメンなさい」

「
・
・
・
・
・
グ
フ
ツ
」

やるじゃないか冴子。このカミタマから貰ったチートニズムなボディをもつてすらチミの可愛さは防げないぜ

僕ちゃんは身体中から液体を出しながら、床に倒れる。

「お兄ちゃん！」

冴子が慌てて僕ちゃんの方にくる。

くるな冴子。僕ちゃんは・・・

「お兄ちゃん！だいじょ・・・ヒイ！」

冴子は腰が抜けたようだ。

まあ、僕ちゃんの顔、今血塗れだしね 鼻血と血涙でwwwそれと・・・・・・・・（ピー）でねww

あ！冴子のパンツ見えてるおwwwwwハアハア

「・・・・・・・・兄さん？大丈夫？」

「ヒュー・・・余裕・・・ヒュー・・・だよ。ヒュー・・・言つた
る？・・・ヒュー・・・僕ちゃんは・・・ヒュー・・・無敵なの・・・
ヒュー・・・さ・・・」

「っ！兄さん！今、救急車を・・・」

僕ちゃんは這つて部屋を出て行こうとする冴子の尻をグワシッと、
効果音が出そうなぐらい強く掴んで止める。

「あん／＼／＼に、兄さん／＼／」

「行くな・・・ヒュー・・・冴子・・・ヒュー・・・見届けて・・・
ヒュー・・・くれ・・・」

「に、兄さん・・・んっ」

冴子は僕ちゃんの方に向き直ると、キスをしてくる。ちなみに言う
がな、4才と5才だ。マジCOOLだろ？

っ！か、長い

もう3分近く経ってるぞ。い、息が・・・っ、続かないお

「ぷはあ、兄さん、どうだっ・・・兄さん？・・・ね
え！起きてよ！兄さん！」

「・・・・・・・・」

「ねえ、起きてったらあ。にいさあん・・・うわぁ〜ん！」

これやりだして二年になるが、どんどん冴子のカオスレベルが上がっている気がするのは僕ちゃんだけだろうか？将来、ブラコンになんねえかな。いや、まあ、するつもりですけどねwwwwww

起きたら昼だった（前書き）

朝6時に投稿するつもりだったんだけど、眠すぎて7時間も先延ばしにしちゃったぜ

冴子9才

竹太郎8才です

二重投稿の指摘ありがとうございますー！

起きたら昼だった

おとーたまが死にますたーwwwwww

僕ちゃんと冴子のあつつういラブシィンを見て、ショック死してしまったようであwwwwww

僕ちゃんの部屋で冴子とラブリィキッスをしてたら、

『竹太郎、修練の・・・』

おとーたまwwwwwwタイミングが悪いようwwwwwwまあ、優しいおとーたまなら、

『こおんの出来損ないがあ！』

おお、切れた

おとーたまが持っている竹刀で僕ちゃんに、僕ちゃんに！殴りかかってきたおwwwwww娘は可愛いんですね、分かりますう。が、

お主も甘いのお。天津飯の餡のごとく甘い！僕ちゃんの隣には

「お父様！かく〜！」

おとーたまの竹刀を受け止める小さな戦士！その名は毒島 冴子！

「むう！冴子！どかんかぁ！」

「どきません！私たちの愛の為に死んで下さい！」

「冴子サイコー！そんなおっさんぶつ殺せえwwwwww」

いや〜、喧嘩っていいよね。見る分には楽しいおwwwwww

とかなんか思っていると、何時の間にやら頭から血を出して倒れているおとーたま。倒れているおとーたまの横でやたらニヤニヤしている冴子………分かったことは冴子は強くて可愛いと言うことだ！そして『私は怪物なんだ』的なフラグが早くも立ってしまったようですなwwwwww

おとーたま？誰それ？

そんな感じで救急車を呼ぶ。ヒッキーなおとーたまなら、良かったのだが、ウチのおとーたま社交的だったので家にずっと閉じこもってます作戦は無理ぽ。仕方ないので救急車。

葬式とか事情聴取とかやったが、一番困ったのは『俺、凄腕刑事ですけど〜』な刑事が冴子を疑いだした時だおwwwwww

ヌジ、ビビったね。

一回目の事情聴取の次の日に

「犯人は妹かね？」　ってちよつと苦い顔で言ってきたんだぜ。まあ、僕ちゃん達の言い分が適当だったせいもあるだろう。

取調室的な部屋

『お父さんを殴ったりした人を見たかい？』

「ちよゝ見てないっすよ。マジで。下でアイス食ってたら、冴子の叫び声が聞こえてゝ、んで、マジ焦って見に行ったらオヤジが頭から血イドクドク出してたわけ。ギャハハハハハハハハハハ！」

-
-
-
-
-
-

こんな感じで、僕ちゃんの事情聴取は終わったおwwwwwwwしか
も、冴子と口裏合わせてないから二人の証言はまったく噛み合っ
てないおwwwwwwwwwwwwwww

んじゃ、この刑事優秀？ 殺すしかないおwwwって、なる
のだが残念？ な事に刑事がくれた名刺には『宮本』と書いてあった
のだ！ 可能性は高い。刑事だし、見た目が子供いそうだし、腕利き
っぽいし……。宮本 麗の父親の可能性がひつじょーに高い！

・・・・・・・・どうしよう？

何がつて？

冴子とるか、レイたん取るかどっちにしようか迷うおwwwwww

『冴子に脅されてますたwwwwww』って言ったら、

冴子少年院へ

僕ちゃん、一人

宮本刑事が『俺の家に来るか？』

僕ちゃん行く

レイたんと、レイたんのお母さんのフラグをビーンビーンにするおww
wwww

のパターンか

『冴子はやってません！』

刑事『仕方ねえな』で諦める

冴子とラブラブ

・・・もう冴子フラグ立ってるしなあ

いよおし、宮本ルートだあ！

「どうしたんだい？」

「刑事さん・・・僕ちゃん脅されてたんです。お父さんを殺したのは間違いなく冴子です」

「・・・そうか、よく言ってくれたね」

僕ちゃんが欲しいのはそんな言葉じゃないおwww

「・・・」

僕ちゃんは沈黙し続けると、

「そ、そうだ！今日は私の家に来るかい？」

「イエッサー！18：00に迎えに来て下さい！」

「は？」

惚けた顔をしている刑事をほっという速攻で家に帰る。

めんどくせえが、一芝居打つとかないと冴子フラグが消えるかもしれん。消えたら困るしな、さっさと手を打つ。

もう、夏やすみい！

「冴子！無事か！？」

僕ちゃんはドアを飛び蹴りで粉碎し、冴子がいるであろう居間に向かって走る。

「兄さん！？どうしたの！？」

「冴子！今すぐ逃げろ！警察が冴子を捕まえようとしてやがる！」

「そう、ですか……………分かりました。自首します」

「冴子！」

僕ちゃんは心底驚いた表情をする。まあ、内心テラ爆笑なんですけどね〜wwwwwwここまでうまく行っているんですか？

「兄さん、ありがとう。でも、兄さんに迷惑かけたくないんだよ」

「……………くっ！冴子」

顔をやや上に向けて、手の中にあらかじめ持っていた目薬を涙を拭く動作をしながら、さりげなくさす。

「分かったよ冴子（涙目）」

「……………兄さん」

そしてえ！あつつういキッス！

舌とか余裕で絡めてますけど、何か問題でも？

キッスしながら、時計を見ると17:58を指していた。どうやら逮捕も18:00ジャストを狙っているようだ。別に何時でも良かったんだけどなあ。流石、ヒロインの父親は一味違うつか？まあいい。この鬼畜外道コースを選んだ時から覚悟は出来ている。でも、痛いのは無理ぽwwwwwwそんなだったら、即逃げるよ？僕ちやんがおkするのは、グラマーなお姉さんと二人っきりの尋問だからね！

ピンポーン

「ぶはあ、兄さん行つて来るよ」

「ハアハア………冴子」

冴子のキッスは長いです。運動も何もしていない僕ちゃんには拷問です。居間を出て行こうとする冴子を見ると、なんか大事な事を忘れてる気がするお。なんだったつけ？……………そうか！バケモノフラグかつ！

冴子が居間を出る直前に

「冴子お！お兄ちゃんは冴子が怪物だろうが変態だろうが大好きだぞお！」

一瞬ポカンとした冴子だったが、

「フフツ、兄さん。私が帰って来た時に他の女は作らないようにね？兄さんは私のモノなんだから」

そう言つて、冴子は出て行つた。

え？やつたよね、これ

ヤンデレ入っちゃったけど、100%フラグ立ったよね？

いよっしゃあ！

流石僕ちゃん！天才だろお！

ふつ、高貴な僕ちゃんの手にかかれば一般庶民なんか余裕さ！

「竹太郎君。迎えに来たよ」

うん？何時の間にやら刑事が後ろに立っていた。

見ろ！刑事のあの可哀想な子を見る目！僕ちゃんに完璧に騙されて

やがる！ヒヤアッハハハハハハハハ！

「……………今、行きます（涙目 目薬）」

マヌエラ（前書き）

エロ主の見た目は『千と千尋の神隠し』のハクです。あの神様だった男の子だよ！

今回はちょいエロい

マヌエラ

「私、宮本 麗！9才よ！あなたは？」

「毒島 竹太郎です。8才です。これからよろしくお願いします」

「ポッ／／／」

「……いや、はええだろお！」

僕ちゃんまだ何もしてないおｗｗｗｗｗｗ

まあ、分かんんでもない。なんせ余は高貴な、神にも勝る美しさを持つているのだ。一般庶民の域を出ない女など余にかかれればイチコロじゃ……。一般庶民の域は余裕で出てるけど、それでも僕ちゃんの方が上なの！

「た、竹太郎／／／」

「ん？」

顔を赤くしながら呼んでくるレイたんｗｗｗｗｗｗ冴子の方が可愛いが悪くないおｗｗｗｗｗｗそこで、萌える仕草を入れたら、いい

勝負だな（ドヤ

「竹太郎は好きな人い・・・」

「毒島 竹太郎は宮本 麗を愛しています」

「え？」

ポカンとするレイたん。その隙もらったああ！

僕ちゃんのターン！芸術と言つのもを魅せてやる！

周囲の確認！

ふっ、子供二人で過ごさせるつもりで、どこかに行ったらしい・・・
密室とは・・・やりやすいなwwwwww

宮本 麗！

先程の告白で動揺している！

僕ちゃんのターン！

宮本 麗にダイレクトキス！

唇と唇が絡み合う！
初心者とか無視だぜ！

宮本 麗！

キスにウツトリとして動けない！

僕ちゃんのターン！

下半身全裸！しかも、レイたんの太ももにこすりつけてカクカク
ww

レイたん！

動揺とかそういうのを乗り越して固まっている！レイたんの太もも
の間から透明な液がっ！

僕ちゃんのターン！

なんだこの液体は！？

僕ちゃんは知らないおwwwwwwwww気になるから元を辿るおwww
www

・・・どうやら股の間らしいwww触るとレイたんが喘ぐwwwww
wこれは一体何だろうか？www

レイたん！

喘ぐ事しか出来ない！

「おお、話は終わったかい？どうだい？ウチの娘は？」

「はいwwwwwwとっても分かりやす・・・話しやすい人ですたwwwwww」

「そ、そうかい。それは良かった（何か急に話し方変わったぞ？）そ、そうだ。麗はどうだったんだい？言った通りいい子だろ？」

「うん！お父さん！こんな気持ちいい男の子連れて来てくれてありがとう！」

「（気持ちいい？）そうか！それは良かった！今日から私達は家族だ！」

その日以降、宮本父は心から笑えなくなる。そのことは本人ですらまだ、気づいてない・・・

a v ? 興味ないね (前書き)

レイたん 冴子は同年齢でした。サーセン W W W W W W W

僕ちゃん 8才

レイたん 9才

冴子 9才

av?興味ないね

「高城の家って暴力団らしいぜ」

「えー、マジかよ。それ」

「本当だつて。マ・・・母さんが『高城さんは暴力団のボスの娘さんよ』って、言ってたもん」

「うわぁ、こえー。あいつ危険人物じゃん」

「うん。目をつけられたら大阪湾に沈められるらしいよ」

「じゃあ、あいつには気をつけないとな」

「ちょっと！あんたたち！何パパの悪口言ってるの！」

「うわぁ！出たぞ！危険人物だぁ！」

「うわぁ！」

「ちょ、ちょっと！・・・・・・・・・・何よ・・・・私にはパパのことなんか関係ないじゃない・・・・」

どもー、今、高城 沙耶・・・通称：タカピーを滑り台の陰から観察しておりますwwwwww

サーたんは冴子と被るからダメだおwwwwww

ちなみに冴子は少年院でボスになっているそうですwwwww鍛えている大人ですら冴子を倒すのは無理ぽwwwww当然と言えば、当然ですが。なんせヒロインだぜ？しかも、ゾンビマンガの・・・チートで当然だろwwwwww

「ねえ、竹ちゃん。何してるの？」

僕ちゃんの一個上で、僕ちゃんにメロメロで濡れ濡れなレイたんが、何時の間にやら僕ちゃんの隣に立っていた。

「んー、これはね、危険人物から隠れているんだよ」

「危険人物？」

「うん。あそこにいる高城 沙耶のお父さんは暴力団のボスなんだよ」

「・・・へー、でも、竹ちゃんはその子にイジメられている訳でもないでしょ？」

イジメられていますうwwwwwwだって、下手にタカピーのフラグ

立ててみるよ。あのおとーたまが居るんだぜ？お母さんはボン・キ
ユ・ボンでも、おとーたまがガチの人殺しだしいwwwゾンビ以外
の死亡フラグ立つじゃん！

認められれば、いいんじゃない？とか思ったヤツ、それ無理だからw
wwww

僕ちゃんの目の奥に存在する宝石のように輝くエロ魂をあいつに隠
せるとは思えないっ！

僕ちゃんの目の輝きは、高貴な輝き：純真無垢な輝き：エロ魂の萌
えるような輝き〃0,5:0,5:9なのだっ！一般人の輝きとは
一味違うのだよ！

これイジメだろwwwwwwエロ主である僕ちゃんは必ずタカピ
ーのフラグを立てなければいけないのだっ（泣

立てれば自動で死亡フラグだしよあ・・・

「イジメられてるよ。毎日毎日、小学校に来る度に・・・」

「なっ！・・・なるほど、なら、あの人を殺せば竹ちゃんは
救われるのね？」

「そうそう・・・ん？殺しちゃダメだおwwwwww」

「ちょっと、行って来るわ」

はい、聞いてませんでしたwwwwww

いやー、ヤンデレっていいネwwwwww一つ聞いたら、十の勘違いだからねwwwwww特に気をかけなくてもいいから、楽し
いwwwwww

しかし、ここでタカピーを殺して欲しくないなあ……ん？
んんっ？あの走る姿は……小室っ！来やがった！あの青い流星！
僕ちゃんがいなかったら、所構わずレイたんのフラグを立てようと
しやがる！まあ、防いでいるがな……

今回はタカピーか？

タカピーの様子を見る限り、好感度60%……まだ、余裕で逆転
できる範囲だ。しかし、これ以上接触されては今後のフラグに影響
が出るかもしれない……なんとしても止めてやるっ！

チート発動！

『高速移動』！

この能力は50mを5秒で走り切れるようになるのだ！

僕ちゃんスタート！

レイたんを追い抜き、タカピーに向かう。小室が右側からタカピー

に向かって走っている。しかも、

『ヤツの方が距離が短いっ!』

小室の方が10m程タカピーに近かったのだ!そのせいで、かなりいい勝負である。

『うおおお!僕ちゃんパワー!』

タカピーから残り5mで僕ちゃんは跳んだ。

・・・・・・あえて、タカピーのやや右に・・・

僕ちゃんの膝は小室の左顔を吹っ飛ばす。タカピーから見れば僕ちゃんが小室に向かって飛び蹴りをしているように見えるだろう。小室泣いてるし、僕ちゃんムツチャ悪い笑顔だし・・・・・・取り敢えず、小室君へ、

サ
ー
セ
ン
w
w
w
w
w
w
w

ver・小室 孝

のあらすじ（前書き）

今回の転生者は、ありそうなタイプのチート憑依者ですv

『俺、こついつの好きなんだけど・・・』と言う方は危険Deat
h

まだですが、進んで行くうちにフルボッコですw
覚悟を決めて読んで下さい

俺の名前は小室 孝。愛とフラグに燃える憑依者だ。

前世では一般高校生だった。中の下辺りの高校で、俺自身普通の顔立ちの普通のヤツだった。しかし、思わぬ転機が訪れた。

・・・転生だった。

自称神様が俺の書類にコーヒーを零してしまったらしい。目が覚めたら何もない空間に爺さんが一人いて、目が合った瞬間に土下座された。死んだ原因を教えられて

『てめえ！よくも・・・』

『済まんかった！お詫びに転生チートじゃ！』

『いよっしゃあ！』

俺は怒ったフリをして爺さんから言質をとった。

『何個までだ！？』

『さ、3個までじゃ！』

『どこの世界だ！？』

『ゾンビがわんさかいる世界じゃ!』

俺はそれを聞いてから、しばらく考える。

『よし、決めた。』

1、肉体の限界をなくすこと

2、ハンター×ハンターの念が全系統100%

3、願いを6個までにする

4、頭が人類で一番良くなりたい

5、銀髪で、右目が赤で、左目が緑のイケメンがいい

6、不老不死

だ』

『欲張りじゃのお』

『ダメか?』

『フオッフオッフオッフオ、別にいいじゃろ。それとお主が行く世界は『学園黙示録』じゃ』

『学園黙示録……なんだと!なら、ニコポを付けてくれ!』

俺は爺さんの肩を掴んでガクガクする。

『それは無理じゃ。もう、天界に申請してもうたわい』

『ちくしょおお、冴子フラグがあゝ』

うなだれる俺を見て爺さんが哀れんだようで、

『よし！なら、お主を主人公に憑依させてやる！』

『マジで！？ありがとう神様！』

『よし！それでは逝ってこい！』

・・・・・・・・ん？まさか、その字は・・・

ぱかっ

俺の足元に穴が出来ていた。そして、高速で落ちて行く。

『忘れてたああああ！！覚えてろよジジイ！』

『達者でのゝ』

俺が最後に見たのは、赤いハンカチを持つ爺さんだった。

ダービーーーーー!!!!!!!!!!!!!!

「ぐああああ！」

僕ちゃんの飛び蹴りでマンガみたいに、地面と並行になつて飛ぶ主人公。5 m地面と並行に飛び、さらに地面に着いてから5 m転がる。

・
・
・
・
・
・
おかしくね？

なんか蹴った時の感触が豆腐だったもん。そして、なによりも、

「いつてえええ」

起き上がる小室

その髪は銀髪で、目がオッドアイ。そして、なんかちょー美形

・ ・ ・ ・ ・ おめえ、転生者だろ W W W W W W W

ムツチャ分かりやすいんですけどwwwwwwえ？なにになに、イケメンになる代わりに身体耐久力下げたの？豆腐じゃん！効果音付けるなら『グチョ』だもんwwwwww硬さのカケラも無いんですね、分かりますwwwwww（注・エロ主は小室がチート憑依者であることを知りません）

「ちよつと！毒島！何やってんのよ！」

タカピーが僕ちゃんに詰め寄って来た。その距離30cm

……ふう、タカピー。僕ちゃんから半径30cmは、

『エロ主ゾーン』D・AW

説明書・エロ主ゾーンとは、エロ主から半径30cm以内の所にいる人間の好感度を絶対に50%上げるのだ！ただし、これを使うとエロ主の『煩惱』が60%になり、ほぼ確実に《ピー》が勃ちます。しかも、相手の好感度が『エロ主ゾーン』で100%を超えた場合、相手は『ヤンデレ』になりますw

その時、高城 沙耶は混乱していた。

暴力団じゃなくて右翼よ！といった思いも忘れ、竹太郎を見つめる。なぜか、後光がさしている竹太郎を見ると、体の芯からムラムラして来るのだ。

（な、なにこれ？）

しかも、竹太郎が異常にかっこよく見える。前から他の連中とは違って、優しいから気になっていたが、今日はいつになく魅力的に感じた。

顔が赤いおwww僕ちゃんの魅力ですか？そうなんですか？僕ちゃんは赤くなってモジモジしているタカピ一の腰に手を回す。

「キャツ、な、なにを・・・」

「言葉なんかいらないよ。さあ、こっちだ」

そう言っただけ竹太郎は校舎にタカピ一と2人で入って行った。

校舎の至る所からっぱの教室がある。そのウチの一つをLOVE

ホテルにしましたwwwwww

今、タカピーとあつつうういキッスをしてまあすwwwwww

「ぷはあ・・・竹太郎」

「フフフツ、沙耶は可愛いな」

（注・一応、かつこいいエロ主です）

僕ちゃんは沙耶の服を全て脱がせると、全身をペロペロしていく。

「ああ、ああつ、そ、そこはああ」

どうやら、かなり高まっているらしく、どこ舐めてもハアハア言うおwwwwwwつか、ロリプニ最高でござるwwwwwwロリ限定のすっべすっべな肌に、プニプニの感触。うへうへwwwwww

両手にティクビ！口にマ《ピー》コ！

秘技！3点責め！

僕ちゃんが動き出すと

「ひゃあ、あ、ああつ、そ、そんな、だ、だめ、ああ、ああん、あ・・・あああああ、い、イクウウー！」

いったか・・・この勝負、僕ちゃんの勝ちのようだおwwwwww

「ちょっと！なんで宮本が付いてくるの！？」

「私と竹ちゃんはどうせーしてるって、言ってるでしょ！」

「そ、そんな、ねえ、竹太郎！う、ウソでしょ？ウソよね？あの雌豚が言ってるだけよね？」

「・・・・・・・・・・」

「う、ウソでしょ・・・・・」

「ほら、見なさいよ！竹ちゃんは私が世界で一番好きなの！」

「でも、負けないからね！」

「・・・・・・・・・・」

どうやら、『エロ主ゾーン』にレイたんも入っていたらしく、好感

度150%が200%になってしまった・・・

レイたんのヤンデレLevelが78になった！好感度が200%になった！

タカピートの好感度が120%になった！

エロ主の周囲のカオスLevelが56になった！（エロ主が存在しているため、スタートは30からだった）

小室 孝のフラグが無くなった！

迷惑メールと闘う作者（前書き）

作風変えたのを書いてみたり、迷惑メールを送ってくる会社に、逆に嫌がらせをしたりと忙しい日々を送っていました。

今回は原作開始のあらすじ？的なものです。今日？中にたぶん、もう一話やるお

迷惑メールと闘う作者

「今日こそ決着を着けてやる！永！」

「ああ！俺たちで未来を切り開くんだ！」

学校の屋上で孝と永は、とある人物に孝はバッド、永は竹刀を持って構えていた。その2人の敵意剥き出しの様子を余裕の表情で見ている人物。今時の高校生には珍しいおかつぱで、服装が制服ではなく作務衣のような物だった。なにより顔立ちが美しかった。女と言われれば納得出来るが、男と言われれば驚くだろう。そして、この美しき人物は男だった。その名は

「行くぞお！竹太郎！」

「うおおおっお！死ねえ！毒島あ！」

付き合いの長さから孝は「竹太郎」、永は「毒島」と呼ぶ。

2人の殺意剥き出しの攻撃をバックスウエーでかわす。そして、大きく空振った2人の間をくぐると、両手を大きく広げて、振り返った孝の左耳に左手を叩きつけ、永の右耳に右手を叩きつける。

「ぐああああああああ！」

結果。2人は叩かれた耳の鼓膜から血を流し倒れる。

そして、叫び声を上げている2人を見下す人物。本作のスーパー
ター！

「ふっ、たわいもないおwww」

毒島 竹太郎である。最近、その美貌にさらに磨きがかかり、残念
感がPowerUPしている。

竹太郎がカッコつけていると、放送が入る。

『全校生徒の皆さん！し、至急！非難（略）』

原作開始であつた。

迷惑メールと闘う作者（後書き）

迷惑メールの会社は出会い系サイトです。ムカついたので捨てアドレスで登録して、サポートセンターに2秒に1通（爆弾メール）送ってました。wwwnachinamiに、爆弾メール開いたみたいで、合計2万通ぐらい送った辺りから返事が来なくなりました。つか、強制退会させられたおwwwふつ、勝った

見える。見えるよ。目で見ようとしたから、見えなかった。（前書き）

ゴキブリは逃げる時、IQ340だそうです
それでも殺されるのは、どのように逃げるかを、止まって考えているからだそうです

見える。見えるよ。目で見ようとしたから、見えなかった。

やっちまったおwwwあの変態色情魔共の相手をしていたら、何時の間にか原作スタートしてましたwwwあれだね、知ってた上に、原作スタート見逃す僕ちゃんはなかなかタチが悪いぜ！

僕ちゃんは今、廊下を走ってレイたんの所に向かっているおwww完全に遅刻しているけど、その辺りは主人公ほせ・・・エロ主補正があるに違いないおwwwマジ、完璧だろ僕ちゃんっ！一寸の隙も無いおwww

とりあえず、教室に着くまで現状整理だお！

冴子は今も少年院。まあ、よっぽどきょりよくなヤツ・・・よーするに転生者がバイオハザードのタイラントになったりとかハンターになって、襲いかかって来たりしない限り大丈夫だろう？むしろ、襲いかかった方の心配をするね！ま、大前提にみんな、冴子が少年院にいること自体知らないけどwww

レイたんはヒロイン補正が露骨に着いてるからなあ・・・ほっといても大丈夫！な気がするおwww留年の時に慰めた時から、ヤンデレが止まる気配なく成長し続けている・・・しかも、ほっんとくにちょっとした事で、切れるし・・・会いたく無いお。どうしてあんなったしorz

タカピーはどうしよう？いや、良いんだよ？胸はロケットだし、モミミしたら恥ずかしそうに喜ぶし、タカピーの教室に行つて、平野コータに見せつける様にキスしたり・・・僕ちゃんは平野コータは認めないよ？あんなオタデブが美人GETするとか許さな

いおwwwwww任せろ！平野！僕ちゃんが貴様を大魔法使いにしてやる！・・・・・・・・・・タカピーもほつといたら、ヒロイン補正で大丈夫そうだな・・・ほつとくか

小室 孝と井豪 永は転生者だったおwwwあれはマジ乙wwwwwww孝は銀髪でオッドアイなんだけど、顔立ちが一緒なんだよね！原作と・・・・・・・・漫画の小室 孝を銀髪にして、オッドアイにしたら完成！全然キモいよwwwあれだよ、あれ、コスプレが似合ってないのに、コスプレ続けてる人を見てる感じだおwwwそのせいか、友人が永以外いないようだwwwwwwwまあ、入学当初から染めてるヤツと仲良くなりたくないよねwwwwwwwみんな、ゆーとーせーだしwww

永は高校から乱入して来たおwwwなんか知らんが、体が2m以上の巨体になっていたwwwwwwwしかも、ガタイがゴツイ。え、何？パワードスーツ着てるの？状態だおwww北斗の拳をリアルに再現しますたwwwwwww当然の如く友人ゼロ。しかも

『ハアハア、竹太郎可愛いよ。ハアハア』・・・・・・・・ホモらしいorz入学当初に屋上で見てしまった・・・最初は普通にアタックして来たんだけど、気付いた時には、人のいないタイミングを見計らって襲いかかって来るレイプ魔になっていたwww・・・・・・・・笑えないお。どうしてこうなったしorz

結果！

保健の先生を助けに行こう！冴子がいらないから、死んでしまつかもしれないしい

僕ちゃんは教室まで2mの所でUターンして、保健室を目指す

見える。見えるよ。目で見ようとしたから、見えなかった。(後書き)

全てのことに時あり

なんかねえ奥さん

パンパン！

「ああっ、ああん！そ、そんな！」

「大丈夫だおwww今、人間なんていないおwww」

「ああん！あ、あ、ああっ」

聞いてないおwww

今、何してるかって？

廊下走って逃げてまーすwwwゾンビからwwwつか、
もうこれ、マジ名器だろwww心構えしとかなきゃ絶対、一発
で出してたって！

どんな格好で走ってるかって？

駅弁スタイルですが、何か？いやー、会った瞬間押・・・即入だっ
たおwww

保健室に着く

ゾンビに襲われかけて、半裸状態の鞠川先生

ゾンビをエロPowerで弾き飛ばすと、会話拒否で即入れますた

wwwwwwあんな格好されちゃあ我慢出来ねえぜ！

最初、ちょー嫌がつてたんだけど、ゾンビが起き上がつて来たから、逃げるために入れたまま逃げたわけよwwwwww

もう後は、走つて最中ずつとアンアン言いまくりwwww

僕ちゃんの愛が伝わったんだと思うwwwwww

とりあえず、近くの空き部屋に入り、ラストスパートwwwwww
w床に零しちゃいけないから中にwwwwww

「うつつ、ひ、ひどいよお」

なんか、マリー泣いちゃったんですけどwwwwww僕ちゃんはマリーを抱きしめる。

「マリー、責任は取るおwwwwwwだから、産んでくれ」

ちょー真剣な目をする僕ちゃん。ヤバイだろこれえレベルで真剣な目だおwwwwなんか本でヤバイ時は目をみろつて、書いてたような気がする……ん？マリーの目がトロンとしてないか？ま、まさか！？僕ちゃんさすが！自分に流石って言えるおwwwwww

「毒島君……」

なんかねえ奥さん（後書き）

ちよつと、更新停止するわ

なんか、いいのが書けない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7379u/>

エロりん黙示録

2011年8月1日22時38分発行